

事業所名 A to Z Academy 銀座 児童発達支援

支援プログラム

作成日

2026 年

1 月

1 日

法人（事業所）理念		「未来の輝きを育む」 AtoZ Academy 銀座は、すべての子どもたちが持つ無限の可能性を信じ、その個性と強みを最大限に伸ばすことを理念としています。 健康で安定した生活リズムの形成、活発な運動と感覚の発達、そして豊かな言語・コミュニケーションの獲得を支援することで、子どもたちの成長を総合的にサポートします。 特に、当事業所では、「微細運動の発達支援」「粗大運動の発達支援」「言語・コミュニケーション支援」の3領域を重点的に取り組みの柱とし、 子どもたちが自己を表現し、互いに学び合いながら成長できる環境づくりを大切にしています。 子どもたち一人ひとりが自信を持ち、未来を切り開く力を育むことを目指し、専門性と温かさを両立した支援を提供してまいります。																	
支援方針		お子様一人ひとりの個性と発達特性を尊重し、安心できる関係づくりを基盤として、将来につながる力の育成を目指します。微細運動・粗大運動・言語の3領域を中心に、発達段階に応じた支援を計画的に実施し、着実な成長を支えてまいります。また、保護者様との連携を重視し、日々の様子を共有しながら、子育て全体を支える体制を整えてまいります。																	
営業時間		9時		0分		から		17時		0分		まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		ねらい				支援内容								支援方法例					
本人支援	健康・生活	・ お子様の健康状態を安定的に維持し、必要に応じて改善を図る。 ・ 生活習慣および生活リズムの形成を促し、心身の安定につなげる。 ・ 日常生活における見通しを持つ力や自己管理能力（マネジメントスキル）の育成を図り、自立に向けた基盤を整える。				<健康状態の維持・改善> ・ 日々の健康状態を丁寧に観察し、変化に迅速に対応する。 ・ 発達特性に配慮し、表情・行動など多角的に状態を把握する。 ・ 必要に応じて身体・精神・社会面へのリハビリテーションを行う。 <生活習慣・生活リズムの形成> ・ 睡眠・食事・排泄などの基本的な生活習慣の定着を支援する。 ・ 衣服調整や感染予防など、季節や体調に応じた健康管理を行う。 <基本的生活スキルの獲得> ・ 食事・排泄・着脱・清潔保持などの基本技能を、個々の発達に応じて支援する。 ・ 時間・空間の構造化など、見通しを持って行動できる環境を整える。								<時計の読み方と時の流れの理解> ・ スケジュール等を使い、見通しと切り替えを促す。 <基本的な生活習慣の習得> ・ 生活習慣のルーティン化を図り、できた点を具体的に伝えて定着を促す。 <時間の有効活用> ・ 一日の流れを視覚化し、活動と休息のバランスを取りながら時間の使い方を学ぶ。 ・ 宿題や自由時間の配分を一緒に整理し、主体的な選択を支援する。 <時間厳守と活動の切り替え> ・ 「予告→合図→フォロー」で切り替えを支援し、安心して移行できるようにする。 ・ 統一した合図を用いて見通しを持たせ、成功場面を振り返って定着させる。 <金銭管理と計算能力の習得> ・ おやつ選びや買い物体験を通して、金額の比較や簡単な計算を学ぶ。 ・ 「選ぶ→支払う→受け取る」の手順を視覚化し、実面で理解しやすくする。 <片付けと整頓> ・ 片付け場所を示し、分かりやすい環境を整える。					
	運動・感覚	・ 姿勢や運動・動作に関する基本的技能を高め、学校生活や日常活動を安定して行えるようにする。 ・ 姿勢保持や動作を補助する手段を適切に活用し、自分に合った方法で活動に参加できるよう支援する。 ・ 身体の移動能力を向上させ、学校・家庭・地域での自立性を促す。 ・ 感覚を活かして活動の幅を広げ、意欲的に参加できる場面を増やす。 ・ 感覚を補う手段や代替手段を活用し、生活のしやすさと安心感を高める。 ・ 感覚特性に応じた環境調整や支援を行い、落ち着いて活動に取り組める状態を整える。				<姿勢と運動・動作の基本的技能の向上> 姿勢保持、関節拘縮の予防、筋力の維持・強化を図り、学校生活や日常生活に必要な基本的動作技能の向上を支援する。 <姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用> 必要に応じて姿勢保持や動作を補助する手段を適切に活用し、安全で安定した活動参加を支援する。 <身体の移動能力の向上> 学校・家庭・地域での生活に必要な移動能力を高め、自立性の向上につなげる。 <保有する感覚の活用> 視覚・聴覚・触覚など、子どもが保有する感覚を活かし、活動への参加や理解を促す。 <感覚の補助および代行手段の活用> 障害特性や発達段階に応じて、眼鏡・補聴器などの補助具や代行手段を活用し、情報収集や状況把握を支援する。 <感覚特性への対応> 感覚特性に応じて環境調整や刺激量の調整を行い、落ち着いて活動に取り組める状態を整える。								<着座姿勢の訓練> 机上学習における座位保持を練習し、必要に応じて壁を利用した姿勢調整を行うことで、安定した座位姿勢の定着を図る。 <微細運動の強化> ・ ピーズ通し：手指の巧緻性と目と手の協応を高める。 ・ パズル：ピースの操作を通して手指の操作性と空間認識力を向上させる。 ・ 粘土遊び：こねる・形を作る動作で手の筋力と創造性を育てる。 ・ 紐結び・靴紐練習：指先の精度と協調性を高める。 ・ 指先での絵画・お絵描き：手先の器用さと表現力を伸ばす。 <書字に向けた指先のトレーニング> 指先の巧緻性を高め、鉛筆の持ち方を練習することで書字に必要な基礎技能を育てる。 <はさみの使い方のトレーニング> ハサミの持ち方と操作方法を練習し、太線の中央を切る課題を通して指先の力とコントロール力を養う。					
	認知・行動	・ 認知特性を理解し、個々に応じた適切な支援や対応を行う。 ・ 感覚の活用や認知機能の発達を促し、対象や外部環境を適切に認知し、状況に応じた行動が取れるよう支援する（知覚から行動への認知過程の発達、概念形成の促進を含む）。 ・ 行動障害の予防および適切な対応を行い、安定した生活・活動ができるよう支える。				<認知の特性についての理解と対応> ・ 個々の認知特性を把握し、視覚化や段階化など理解しやすい提示方法で支援する。 ・ 刺激量の調整や環境構造化により、安心して取り組める環境を整える。 <対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得> ・ 感覚を活用した課題で認知機能の発達を促す。 ・ 分類・比較・順序づけなどを通して状況理解と行動選択を支援する。 ・ 大きさ・数・空間・時間などの概念形成を促し、見通しを持てるようにする。 <行動障害への予防及び対応> ・ 感覚特性や認知の偏りに応じた環境調整と事前予告で行動障害を予防する。 ・ 不安時には落ち着ける環境や視覚の手がかりを用いて適切に対応する。								<聴覚の強化> 絵本の読み聞かせや指示に従う活動を通して、集中して聞く力と聴覚的理解力を育てる。 <視覚追従能力の向上> 色とりどりのボールを用いて目で追う練習を行い、視線の維持と追視の力を高める。 <文字や数字の認識> ひらがなや数字のフラッシュカード、指なぞり活動を通して、形の判別力と記憶・認識力を強化する。 <数と比較の概念習得> カウントゲームやブロックを使った大小比較を通して、数の概念や量の違いを理解する力を育てる。 <情報選別能力の向上> 複数の絵カードから指定されたものを選ぶ課題や、短文から重要語句を抜き出す練習を通して、必要な情報を選び取る力を養う。					

	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">・コミュニケーションの基礎的能力の向上・言語の受容と表出・言語の形成と活用・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得・コミュニケーション手段の選択と活用・状況に応じたコミュニケーション	<p><コミュニケーションの基礎的能力の向上></p> <p>障害特性に応じて、言葉・表情・身振り・機器を使った意思疎通を支援する。</p> <p><言語の受容と表出></p> <p>話し言葉や文字・記号を理解し、自分の考えを伝える力を育てる。</p> <p><言語の形成と活用></p> <p>言語を通して概念を形成し、体系的な言語力を身につける。</p> <p><人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得></p> <p>相互作用を通して、共同注意や適切な言動を学ぶ。</p> <p><コミュニケーション手段の選択と活用></p> <ul style="list-style-type: none">・指差し・身振り・サイン・手話・文字など多様な手段で意思疎通を支援する。・機器を活用し、情報伝達を円滑にする。 <p><状況に応じたコミュニケーション></p> <p>人間関係や状況を踏まえ、適切なコミュニケーションを支援する。</p> <p><読み書き能力の向上></p> <p>特性に応じた方法で読み書き能力の向上を図る。</p>	<p><語彙の拡充></p> <ul style="list-style-type: none">・絵本の読み聞かせを行い、新しい語彙や文章構造への理解を促す。・絵カードやフラッシュカードを用いて、楽しみながら語彙を増やす活動を行う。 <p><発音の矯正></p> <ul style="list-style-type: none">・口の動きや舌の使い方を確認しながら、個々に応じた発音練習を行い、正しい発音の定着を図る。 <p><話し方と言葉遣いの改善></p> <ul style="list-style-type: none">・ロールプレイや簡単なシナリオを用いて、場面に応じた適切な話し方・言葉遣いを練習する。 <p><意見表明の訓練></p> <ul style="list-style-type: none">・口直活動など、人前で話す機会を設け、自分の意見を言葉で伝える練習を行う。・言語以外の表現方法（ジェスチャー・カードなど）も活用し、適切な意思疎通の方法を身につける。 <p><聴取態度の改善></p> <ul style="list-style-type: none">・集団活動の中で、相手の話を最後まで聞く姿勢や、順番を守って会話に参加する練習を行う。
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none">・アタッチメント（愛着）の形成と安定を図り、安心して過ごせる基盤をつくる。・情緒の安定を促し、気持ちのコントロールや安心感を育てる。・他者との関わりを広げ、人間関係の基礎を身につける。・遊びを通して社会性を発達させ、協力・順番・ルール理解などを育む。・自己理解を深め、状況に応じて行動を調整する力を養う。・仲間づくりを支援し、集団活動への参加意欲と協調性を高める。	<p><アタッチメント（愛着）の形成と安定></p> <ul style="list-style-type: none">・安心感と信頼感を育てる関わりを行い、情緒不安定な場面では「安全基地」として寄り添う。 <p><情緒の安定></p> <ul style="list-style-type: none">・落ち着ける環境づくりや気持ちの言語化を支援し、予測可能な流れで安心して活動できるようにする。 <p><他者との関わり（人間関係）の形成></p> <ul style="list-style-type: none">・相手の気持ちや意図を理解できるよう支援し、挨拶・順番・共有など基本的な対人スキルを育てる。 <p><遊びを通じた社会性の促進></p> <ul style="list-style-type: none">・模倣遊びや段階的な遊び設定を通して社会性を育み、並行遊びから協同遊びへの発展を支援する。 <p><自己の理解と行動の調整></p> <ul style="list-style-type: none">・自分の気持ちや行動を理解できるよう支援し、気持ちの切り替えや行動調整の方法を示す。 <p><仲間づくりと集団への参加></p> <ul style="list-style-type: none">・手順やルールを分かりやすく示し、協力や役割分担を通して仲間関係の形成と集団参加を支援する。	<p><傾聴の訓練（ペアワーク活動）></p> <ul style="list-style-type: none">・子ども同士でペアを組み、交代で話す時間を設定する。・話し手の話を集中して聞く練習を行い、その内容をまとめて相手にフィードバックする。・相手の話を最後まで聞く姿勢や、必要な情報を整理する力を育てる。 <p><他者の視点理解の訓練（ロールプレイング）></p> <ul style="list-style-type: none">・店員と客など、異なる役割を設定したロールプレイを行い、他者の立場や感情を理解する練習をする。・社会的な場面設定を用いることで、共感力や社会参加に必要なスキルを育てる。 <p>状況に応じた言動を選択する力を養い、自立に向けた基礎をつくる。</p> <p><自己評価と認識の課題（自己評価シート）></p> <ul style="list-style-type: none">・自己評価シートを用いて、得意・不得意、現在の課題、目標などを書き出す。・自分の状態を客観的に把握する力を育て、自己理解を深める。・本人が課題を理解したうえで取り組むことで、支援内容の定着を促す。
家族支援	保護者様との連携を重視し、ご家庭での課題や希望を丁寧に伺いながら支援を進めています。 支援中の変化は随時共有し、家庭と事業所が一体となってお子様を支えられるよう努めています。また、レスパイトケアの観点から、保護者様の負担軽減を目的とした延長支援も実施しています。		移行支援	学校や学童等訪問時にお子様の情報を先生方と共有し、必要な対応や些細な変化についても連携を図っています。
地域支援・地域連携	他の事業所と連携し、情報共有を密に行いながら療育の質の向上に努めています。 また、近隣住民と協力して避難訓練等を実施し、地域における障害児支援への理解促進に取り組んでいます。		職員の質の向上	法定研修に加えて外部講師による研修にも積極的に参加し、多様な視点から判断力や洞察力を高めています。 また、職員同士の知識共有や横展開を重視し、継続的にスキルを向上させる社内体制を整えています。
主な行事等	日本の四季折々の文化や風習に触れる活動を通して、季節の変化や日本文化への理解を深めています。 また、新年・節分・雛祭り・子どもの日・七夕・夏祭り・お月見・クリスマスなど、年間行事に応じた取り組みも実施しています。			